

国際法務担当者必須の

(6月開催)

海外子会社の法的リスク管理セミナー

▶海外子会社のガバナンス、コンプライアンス体制の整備と対策

主催 一般社団法人 国際商事法研究所

講座開設の趣旨

- ▶ご承知のように、企業の事業活動がグローバル化するにつれ、日系企業が法的なトラブルに関わったり、訴訟にまで発展する事例は増加傾向にあります。親会社にとって海外子会社の管理とガバナンス問題は今や経営戦略上、重要な課題となっております。
- ▶本セミナーは、日本親会社の法務担当者が、海外子会社を運営する場合の法的なリスク管理の側面から、海外子会社のガバナンスやコンプライアンス体制の整備に資するよう、下掲の内容で構成されています。
- ▶講師には、涉外弁護士として活躍されておられ、懇切丁寧な指導に定評のある斯界の専門家、長谷川俊明先生をお迎えし、新興国を含む海外子会社の法的リスクにつき、国際商事法務誌上に連載中の「Q&A」を題材に実務上の要点を解説していただきます。
- ▶すでに海外進出している企業ならびに今後進出を検討中の企業にとって、有用な本セミナーに是非ともご参加下さいませようご案内申し上げます次第です。

開催の要領

- 講師 長谷川俊明 弁護士
- 日時 2021年6月10日(木) 午後1時～午後4時
- 会場 WEB (ライブ配信)
使用アプリ:「Zoom」 ウェビナー
- 受講料 会員27,500円 (非会員 30,800円) 消費税込
- 申込締切 2021年6月7日(月)午後3時
- 申込先 東京都中央区八丁堀 3-25-10 (JR 八丁堀ビル 3階)
一般社団法人国際商事法研究所 〒104-0032
電話 03(3553)6838～9 Fax 03(3555)1545
E-mail:ibl@ibltokyo.jp <https://www.ibltokyo.jp>

- 参加方法 ①受講申込書にご記入の上、郵送、Fax、または [ホームページ](#) によりお申込下さい。
②請求書を郵送いたしますのでお支払手続きをお願いします。ご入金確認後ウェビナー事前登録用のメールをお送りいたします。
③事前登録完了後、ウェビナー参加用 URL をお送りいたします。当日は、15分前からアクセス可能です。
④開催日前日までに、当日使用するレジユメ等を郵送させていただきます。
- 注意事項 お申込前に、Zoom 公式サイトにて利用環境についてご確認ください。※録画はご遠慮ください。

お取消の場合は開催日の前営業日までに必ずご連絡ください。ご連絡のない場合は準備の都合上、受講料のご返金はいたしかねますので予めご了承ください。

主要講義項目

- 総論的検討テーマ
 - リスク管理手法としてのブロック法務、ハブ法務の展開…BREXIT, TPP対応など
 - コロナ禍・パンデミックによる危機・リスク対応とリスク管理体制の高度化
 - 米中摩擦による輸出管理規制と海外子会社
- 新興国型法的・地政学的リスクの特徴と対策
- 外国公務員に対する贈賄防止対策
- 独占禁止法・競争法コンプライアンス対策
- 知的財産権の侵害・被侵害防止コンプライアンス対策
- 人事・労務分野コンプライアンス対策
- サプライチェーンの修復・再構築とCSR・ESG SDGs対策
- M&Aとグループ再編のリスク管理
- 日本親会社と海外子会社間取引のリスク管理
- 顧客・個人データ管理の海外子会社ガバナンス [質疑応答]

講師のプロフィール

長谷川俊明 弁護士

【略歴】

昭和48年早稲田大学法学部卒。53年、米国ワシントン大学ロースクール法学修士。その後、ニューヨーク、ロンドンの法律事務所にて実務に携わり、第一線の涉外弁護士として活躍中。

【主要著書・論文】

訴訟社会アメリカ(中公新書) 日米法務摩擦(中央公論新社)
個人情報保護・管理の基本と書式(中央経済社) 英文契約一般条項の基本原則(中央経済社)
海外子会社のリスク管理と監査実務(中央経済社) ローダス21法律英語辞典(東京堂出版)
ビジネス法律英語入門(日経文庫) 改訂版 条項対訳 英文契約リーディング(第一法規)
訴訟社会(訳書、保険毎日新聞社) 改訂版 法律英語と紛争処理(第一法規)
英文契約700のQ & A(「国際商事法務」誌上にて、好評連載中)

キ——リ——ト——リ——線

(6月開催)		受 講 申 込 書		一般社団法人 国際商事法研究所 御中
「海外子会社の法的リスク管理セミナー」を受講したく、下記のとおり申込みます。				2021年 月 日
会社名		住 所	〒	
部 課 名				
受講者名		T E L		
メールアドレス				

会員について、入会案内書をご希望の方はご請求下さい。ご記入いただいた個人情報は、当所からの各種ご案内の目的以外には利用いたしません。